

フロンティア・ワールド・インカム・ファンド

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、外国籍の投資信託証券を通じて、主として新興国の政府または政府機関などが発行する債券に実質的に投資します。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2023年9月16日～2024年3月15日

| | | |
|------------------------|-----------------|-----------|
| 第209期 | 決算日：2023年10月16日 | |
| 第210期 | 決算日：2023年11月15日 | |
| 第211期 | 決算日：2023年12月15日 | |
| 第212期 | 決算日：2024年1月15日 | |
| 第213期 | 決算日：2024年2月15日 | |
| 第214期 | 決算日：2024年3月15日 | |
| 第214期末 (2024年3月15日) | 基準価額 | 2,285円 |
| | 純資産総額 | 14,348百万円 |
| 第209期～ 第214期 | 騰落率 | 8.5% |
| | 分配金合計 | 90円 |

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

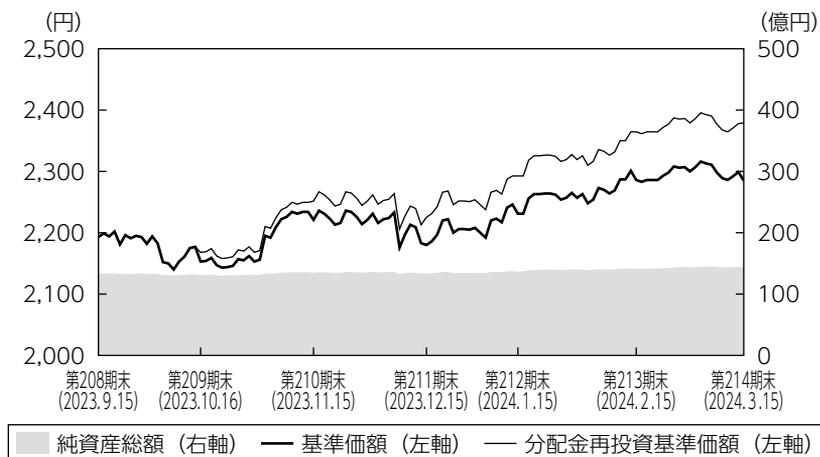
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第209期首： 2,193円
 第214期末： 2,285円
 (既払分配金90円)
 騰落率： 8.5%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

フランクリン・templton・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンドの円建受益証券（以下、ボンド・ファンド）を通じて、主として新興国の政府または政府機関などが発行する債券に実質的に投資した結果、エマージング債券市場は上昇し、為替市場も円安となったことから基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

| 項目 | 第209期～第214期 (2023年9月16日 ～2024年3月15日) | | 項目の概要 |
|---------------------|--|------------------|---|
| | 金額 | 比率 | |
| | (a) 信託報酬 | 13円 | |
| (投信会社) | (5) | (0.228) | |
| (販売会社) | (7) | (0.327) | |
| (受託会社) | (0) | (0.015) | |
| (b) その他費用 (監査費用) | 0 (0) | 0.000 (0.000) | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| 合計 | 13 | 0.570 | |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

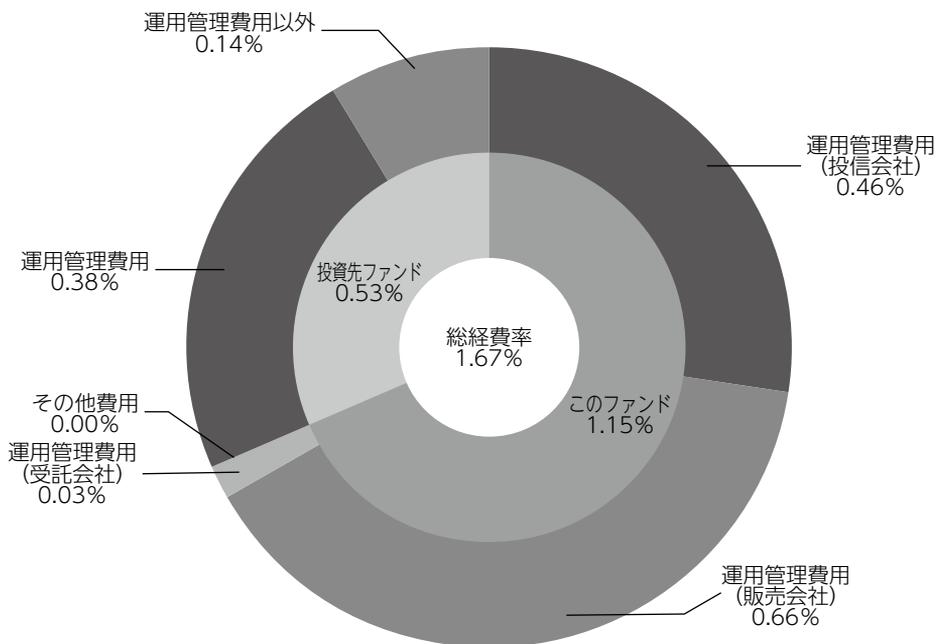
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.67%です。



| | |
|----------------------|-------|
| 総経費率 (①+②+③) | 1.67% |
| ①このファンドの費用の比率 | 1.15% |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.38% |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.14% |

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

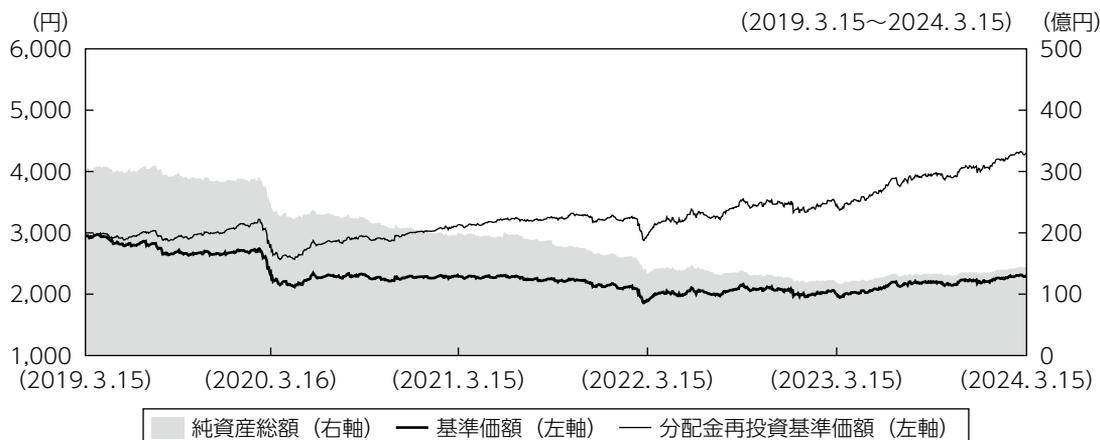
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2019年3月15日の基準価額に合わせて指数化しています。

| | 2019年3月15日 期首 | 2020年3月16日 決算日 | 2021年3月15日 決算日 | 2022年3月15日 決算日 | 2023年3月15日 決算日 | 2024年3月15日 決算日 |
|--------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (分配落) (円) | 2,942 | 2,362 | 2,289 | 1,890 | 2,000 | 2,285 |
| 期間分配金合計 (税引前) (円) | — | 480 | 310 | 300 | 200 | 180 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 (%) | — | △4.3 | 11.1 | △5.3 | 16.8 | 24.1 |
| 参考指数の騰落率 (%) | — | △5.2 | 12.2 | △1.8 | 6.9 | 22.5 |
| 純資産総額 (百万円) | 30,144 | 24,961 | 19,851 | 13,368 | 11,962 | 14,348 |

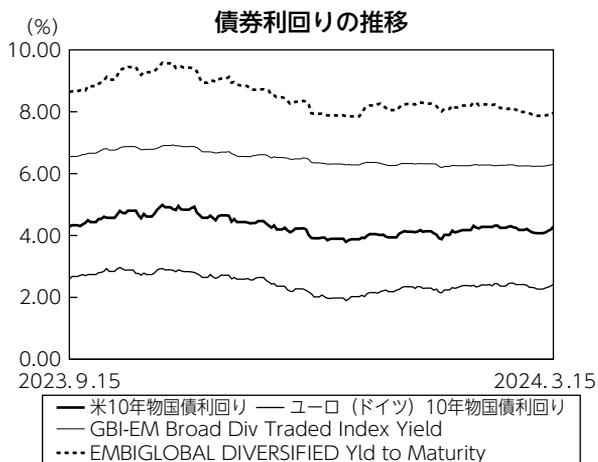
- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はJPモルガン エマージング マーケッツ ボンド インデックス グローバル ダイバースィファイド (円換算) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。
- (注2) 参考指数は、基準価額への反映を考慮して、基準価額算出日前日の指数値を基準価額算出日当日の為替レート (対顧客電信売買相場仲値) で円換算しております (以下同じ)。

投資環境

エマージング債券市場は、堅調でした。作成期初から10月にかけては米国での金融引き締めが長期化するとの見方が強まり、米金利が上昇したことから軟調な展開となったものの、その後は過度な金融引き締めへの懸念が薄れ、さらには利下げ時期の議論に移り、米金利が低下したこと等を受けて堅調に推移しました。

米ドルは対円で上昇しました。作成期初から10月にかけては米金利が上昇し、日米金利差の拡大が意識され米ドル高円安となったものの、その後12月までは米金利の急激な低下により一時米ドル安円高の展開となり、1月から期末にかけては、再び米ドル高円安の展開となりました。エマージング通貨は、米ドル高円安の影響を受け、対円で上昇しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続した影響により、概ねマイナス圏で推移しましたが、当期末にかけては、マイナス金利政策が近く解除されるとの見方を背景に、プラス水準に転じる局面がありました。



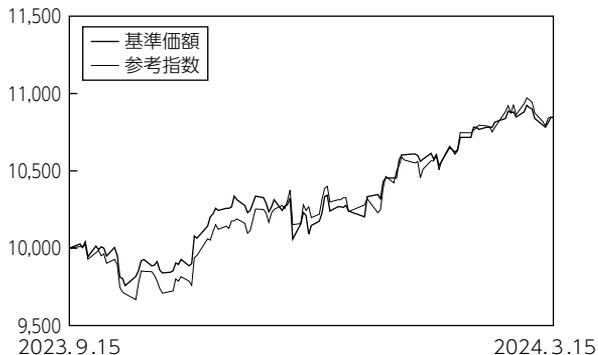
(注) 値は前営業日のものを用いております。

ポートフォリオについて

●当ファンド

債券・ファンドへの投資配分については、資金動向や市場動向等を勘案して、期を通して高位としました。また、国内短期公社債マザーファンドへの投資も継続しました。

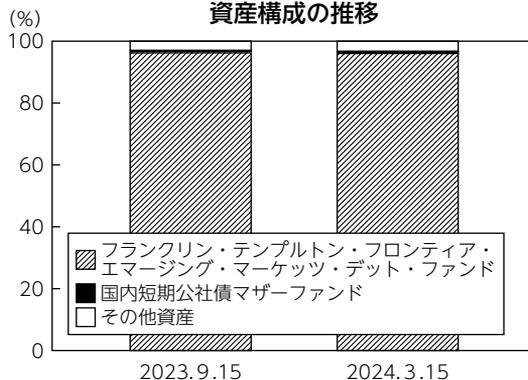
基準価額と市況の推移



※第208期末を10,000とした指数で表示しております。

※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

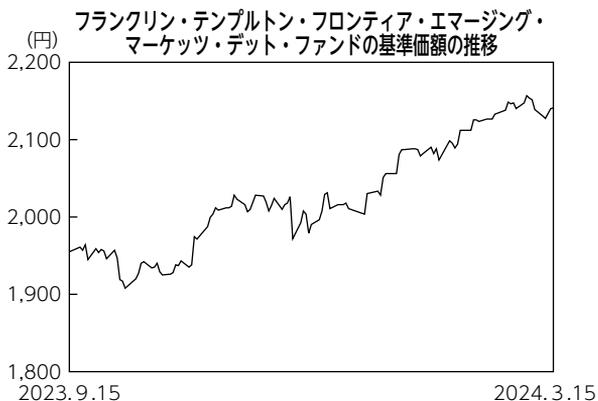
資産構成の推移



※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● ボンド・ファンド

新興国の政府または政府機関等が発行する債券を高位とし、長期的に安定した収益の確保を目的とした運用を行いました。新興国の経済状況、金融政策見通しや債券市況の動向を分析してポートフォリオの構築に努めました。期末時点におけるボンド・ファンドの平均最終利回りは約7.6%、平均直接利回りは約6.6%、デュレーションは約4.7年、通貨配分は、米ドルを中心とした先進国通貨建て債券は約54%、エマージング通貨建て債券は約38%でした。



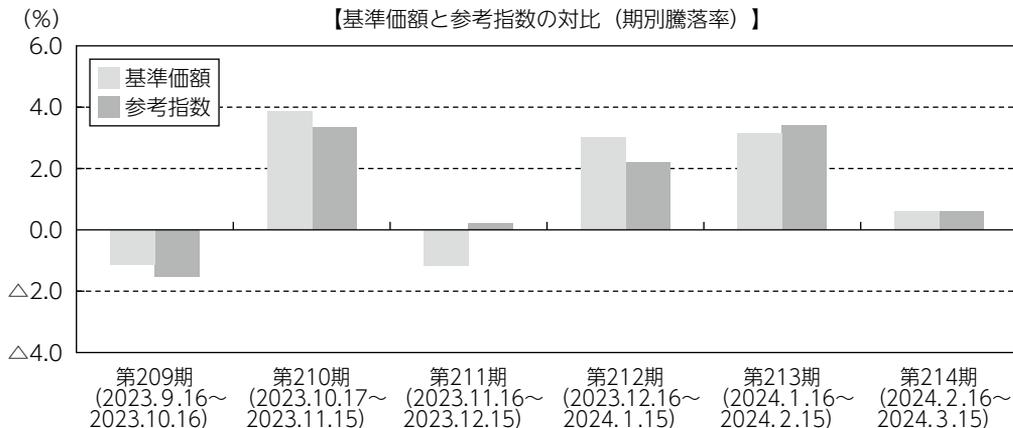
※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

● 国内短期公社債マザーファンド

残存期間の短い地方債などで運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項目 | 第209期 | 第210期 | 第211期 | 第212期 | 第213期 | 第214期 |
|------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 2023年9月16日 ~2023年10月16日 | 2023年10月17日 ~2023年11月15日 | 2023年11月16日 ~2023年12月15日 | 2023年12月16日 ~2024年1月15日 | 2024年1月16日 ~2024年2月15日 | 2024年2月16日 ~2024年3月15日 |
| 当期分配金（税引前） | 15円 | 15円 | 15円 | 15円 | 15円 | 15円 |
| 対基準価額比率 | 0.69% | 0.67% | 0.68% | 0.67% | 0.65% | 0.65% |
| 当期の収益 | 15円 | 15円 | 14円 | 15円 | 15円 | 14円 |
| 当期の収益以外 | -円 | -円 | 0円 | -円 | -円 | 0円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 608円 | 610円 | 610円 | 612円 | 614円 | 614円 |

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

フロンティア・ワールド・インカム・ファンドでは、資金動向や市場動向等に留意し、引き続きボンド・ファンドへの投資配分を高位に維持して、新興国の政府または政府機関等が発行する債券に実質的に投資することにより、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指す方針です。また国内の短期金融市場動向に加え、資金繰りの状況等を勘案して、国内短期公社債マザーファンドの組み入れを適宜行う方針です。

●ボンド・ファンド

2024年の新興国市場の成長に関する経済指標も、引き続き底堅さを示しており、世界経済は大きな成長コストを伴わずにインフレ率が低下している状況が続いています。こうした環境下では、中央銀行は利下げを継続することが可能だと思われます。こうした見通しの下、各国固有の状況等を考慮しながら積極的に投資機会を模索し、ポートフォリオを構築していく方針です。なお、ウクライナ銘柄に関しては保有を継続する方針です。

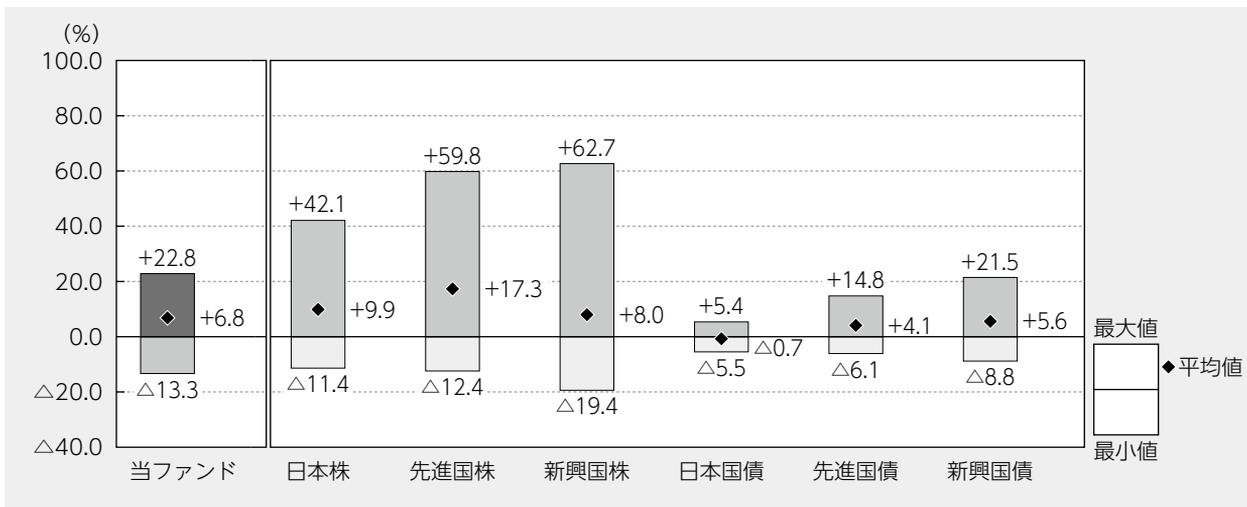
●国内短期公社債マザーファンド

日銀は2024年3月の金融政策決定会合で、マイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策の解除を決定しました。声明文で日銀は「現時点の経済・物価見通しを前提にすれば、当面、緩和的な金融環境が継続すると考えている。」としており、今後はプラス圏ながらも金利は低位で推移するものと見られます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

当ファンドの概要

| | | |
|--------|---|-------------------------------|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 | |
| 信託期間 | 2006年3月31日から2028年9月15日まで。 | |
| 運用方針 | 投資信託証券を主要投資対象として、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 | |
| 主要投資対象 | フロンティア・ワールド・インカム・ファンド | 投資信託証券。 |
| | フランクリン・templton・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンド | 上場または非上場の新興諸国のソブリン債または準ソブリン債。 |
| | 国内短期公社債マザーファンド | 本邦通貨建ての公社債。 |
| 運用方法 | 以下の投資信託証券を通じて、主として新興国の政府または政府機関等が発行する債券に実質的に投資を行い、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 ケイマン諸島籍外国投資信託 フランクリン・templton・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンドの円建受益証券 内国証券投資信託（親投資信託） 国内短期公社債マザーファンドの受益証券 | |
| 分配方針 | 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に安定した分配を継続的に行うことを目標に決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。基準価額水準や市況動向等を勘案して、前記の分配金額のほか、分配対象額の範囲内で委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。 | |

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2019年3月～2024年2月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2024年3月15日現在）

◆組入ファンド等

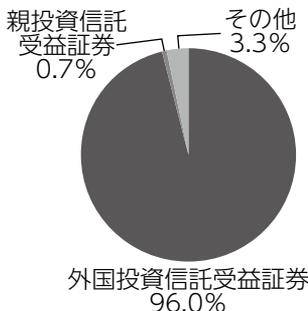
（組入ファンド数：2ファンド）

| | 第214期末 |
|--|------------|
| | 2024年3月15日 |
| フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケッツ・デット・ファンド | 96.0% |
| 国内短期公社債マザーファンド | 0.7 |
| その他 | 3.3 |

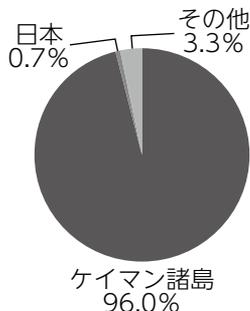
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

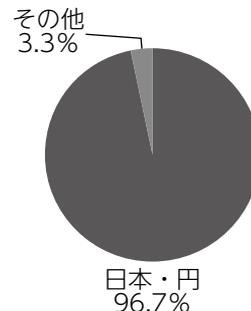
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

（注3）国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

純資産等

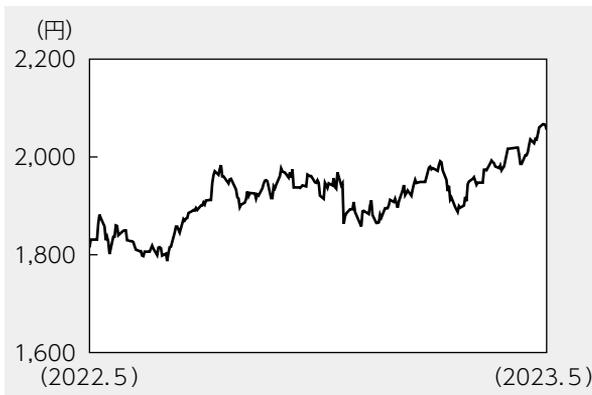
| 項目 | 第209期末 | 第210期末 | 第211期末 | 第212期末 | 第213期末 | 第214期末 |
|------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 2023年10月16日 | 2023年11月15日 | 2023年12月15日 | 2024年1月15日 | 2024年2月15日 | 2024年3月15日 |
| 純資産総額 | 13,080,603,308円 | 13,468,065,339円 | 13,348,547,188円 | 13,643,795,320円 | 14,133,744,120円 | 14,348,937,991円 |
| 受益権総口数 | 60,760,111,030口 | 60,635,732,041口 | 61,244,970,703口 | 61,156,661,971口 | 61,840,360,937口 | 62,806,982,970口 |
| 1万口当たり基準価額 | 2,153円 | 2,221円 | 2,180円 | 2,231円 | 2,286円 | 2,285円 |

（注）当作成期間（第209期～第214期）中における追加設定元本額は5,185,633,819円、同解約元本額は3,164,613,992円です。

組入ファンドの概要

【フランクリン・templton・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンド】（計算期間 2022年6月1日～2023年5月31日）

◆基準価額の推移



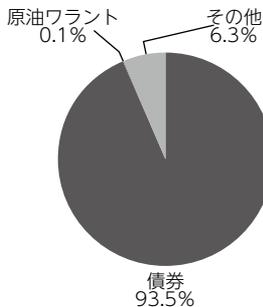
◆組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 国(地域) | 比率 |
|--|------------|------|
| Romani 6.125% due 22/01/2044 REGS | ルーマニア | 3.8% |
| Dominican Republic International Bond 9.750% due 05/06/2026 REGS | ドミニカ共和国 | 3.7 |
| Mexican Bonos 8.000% due 07/11/2047 | メキシコ | 3.7 |
| Government of South Africa 7.000% due 28/02/2031 | 南アフリカ | 3.3 |
| European Bank For Reconstruction & Development 6.170% due 10/03/2025 | 国際機関 | 3.2 |
| Bogota Distrito Capital 9.750% due 26/07/2028 REGS | コロンビア | 2.8 |
| European Bank For Reconstruction & Development 5.000% due 27/01/2025 | 国際機関 | 2.8 |
| Angolan Government International Bond 8.000% due 26/11/2029 REGS | アンゴラ | 2.8 |
| Heritage Petroleum Co. Ltd 9.000% due 12/08/2029 REGS | トリニダード・トバゴ | 2.7 |
| Government of South Africa 4.300% due 12/10/2028 | 南アフリカ | 2.4 |
| 組入銘柄数 | 64銘柄 | |

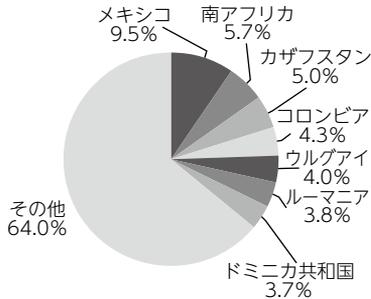
◆1万口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

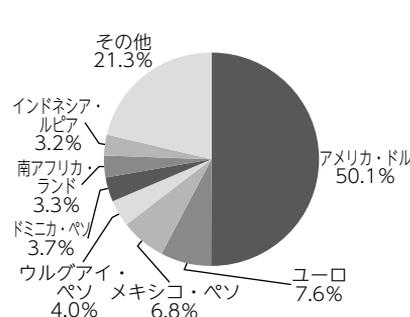
◆資産別配分



◆国別配分



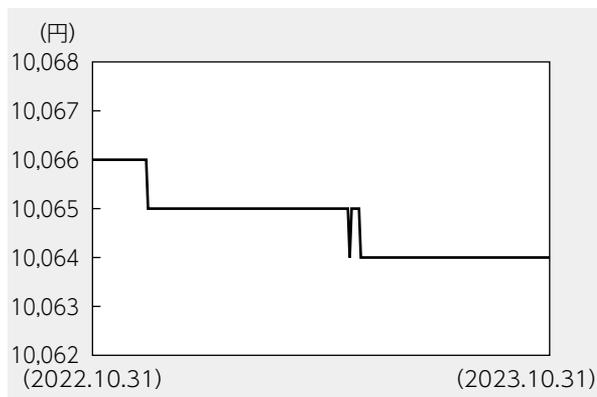
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移はフランクリン・templton・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンドの計算期間のもので、また、当期における分配金を再投資したもとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、フランクリン・templton・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンドの決算日現在の状況を表示しております。
- (注3) 組入上位10銘柄のIndex Linked、REGSは下記のとおりです。
(Index Linked) インフレ連動債です。
(REGS) Regulation Sの略。米国外での証券の募集に関して1990年に米証券取引委員会より定められた規制です。米国企業が米国外で募集した証券については当局での登録義務が免除されており、米国証券を購入する海外投資家の負担を軽減しています。
- (注4) 比率は、フランクリン・templton・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 資産別配分、国別配分の現金等はその他として表示しています。なお、その他は、未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注6) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示してあります。
- (注7) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
- (注8) 国別配分については、国際機関債をその他に含めて集計しています。
- (注9) 通貨別配分は各通貨に現金等を含みます。
- (注10) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は、財務書類等を基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【国内短期公社債マザーファンド】（計算期間 2022年11月1日～2023年10月31日）

◆基準価額の推移



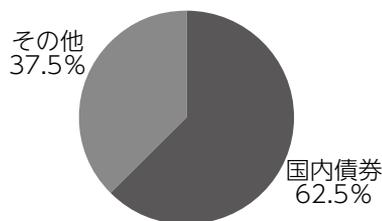
◆組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|------------------|------|-------|
| 131回 共同発行市場公募地方債 | 日本・円 | 22.7% |
| 381回 大阪府公募公債 10年 | 日本・円 | 17.0 |
| 25年度1回 滋賀県公募公債 | 日本・円 | 17.0 |
| 26年度3回 広島県公募公債 | 日本・円 | 5.7 |
| — | — | — |
| — | — | — |
| — | — | — |
| — | — | — |
| — | — | — |
| — | — | — |
| 組入銘柄数 | 4銘柄 | |

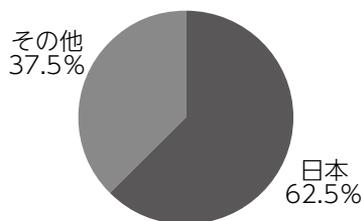
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

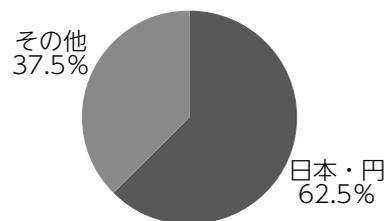
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
- (注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<当ファンドの参考指数について>

●JPモルガン エマージング マーケッツ ボンド インデックス グローバル ダイバーシファイド (円換算)

- ・JPMorgan EMBI Global Diversified indexは、エマージング諸国の発行する米ドル建て国債で構成される指数です。JPモルガン エマージング マーケッツ ボンド インデックス グローバル ダイバーシファイド (円換算) は、JPMorgan EMBI Global Diversified indexをアセットマネジメントOneが円換算したものです。
 - ・JPMorganは、「JPMorgan EMBI Global Diversified (JPモルガン エマージング マーケッツ ボンド インデックス グローバル ダイバーシファイド)」が参照される可能性のある、または販売奨励の目的でJPMorgan EMBI Global Diversifiedが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。JPモルガンは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否、またはJPMorgan EMBI Global Diversifiedが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。JPMorganは、JPMorgan Chase & Coならびに全世界の同社の子会社および関連会社のマーケティングネームです。
- Copyright 2006 JPMorgan Chase & Co. All rights reserved.

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数 (TOPIX)」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス (除く日本)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。